

2025 年 12 月期上半期 決算説明会 質疑応答要旨

日時：2025 年 8 月 22 日（金）

説明者：代表取締役会長 兼 社長 田崎 ひろみ

執行役員 CCO 金子 美和子

Q1：新卒採用と生産性について

質問：4月に150名の新卒採用を行ったにもかかわらず、上半期の生産性が209万円と大きく低下していない印象です。今年の新卒の早期戦力化が進んでいるように見受けられますが、その要因は何でしょうか？HRBPの強化やキャリア形成の取り組みが奏功しているのでしょうか？また、来期以降の新卒採用人数の見通しについても教えてください。

回答：今年度の新卒が本格的に戦力化するのには、早くても下期以降と見込んでいます。生産性が維持されている背景には、2年目・3年目以降の社員の生産性が昨年末と比べて向上していることが挙げられます（2年目：236万円→246万円、3年目以降：289万円→294万円）。教育研修の充実に加え、優秀なコンサルタントの定着が進んでいることも要因です。実際、半期で260名以上の増員を行いました。生産性は維持できています。また、HRBPの強化も進めており、元コンサルタントの優秀人材をHRBPとして配置することで、現場の教育負担を軽減し、若手コンサルタントの早期戦力化を図っています。来年度の新卒採用人数につきましては、約200名を予定しております。

Q2：人材紹介単価の拡大可能性について

質問：今後の人材紹介単価（採用決定者1人当たりの売上高）の拡大余地について、どのようにお考えでしょうか？外部環境としての賃上げの動きや、内部戦略としてのエグゼクティブ・金融領域への注力を踏まえ、毎年どの程度の単価上昇を見込んでいますか？

回答：賃上げに伴う平均年収の上昇も見込まれますが、当社としては高年収領域へのシフトを進めており、これにより毎年4～5%の単価上昇を目指しています。

Q3：MBO や M&A など資本移動への対応について

質問：最近、人材業界ではMBOやM&Aなど資本移動の動きが活発化していますが、御社ではどのような状況をどのように捉えていますか？

回答：業界再編が起きている認識はあり、当社も成長戦略の一環として M&A 等の選択肢は検討対象ではありますが、現時点ではオーガニック成長を軸とした戦略を重視しています。また、当社は上場企業としてのプレゼンスと信用を重視しており、現時点では MBO の実施は想定しておりません。

以上